

活動事例

依頼試験
設備使用

七面会への活動支援

支援先

七面会

【内 容】

七面会は、幕末の水戸藩主徳川斉昭が設けた製陶所で作られた「七面焼」に関する調査・研究を実施し、その再現・復活を目指す活動を行っている市民組織（会長：郡司泰明、会員 72 名）です。当センターは、依頼試験、設備使用、技術相談等により、地域おこし活動に対して支援を行っています。

表 1 当センターの主な支援内容

依頼試験	<ul style="list-style-type: none"> 窯跡出土陶片や水戸藩領地内採取原料の元素分析 七面焼再現粘土の物性試験
設備使用	<ul style="list-style-type: none"> 再現原料の精製や前処理等（フレットミル、精土装置、混練機、ポットミル、セラローラー等） 電気炉による試験焼成
技術相談	<ul style="list-style-type: none"> 粘土、釉薬、化粧土の開発や改良に関する支援

平成 28 年度は、これまでの研究をもとに再現した七面焼（幸せを呼ぶ七面焼）を水戸市の観光物産資源にまで高めるべく、以下の活動を支援しました。



図 1 ランドネきたかんマルシェ



図 2 幸せを呼ぶ七面焼
(H28 新作, 梅花文ぐい呑み)

【七面会における活動成果】

●調査・研究活動

- 当センターの助言をふまえ、粘土の性状改善（耐火度向上、収縮率抑制）に取り組みました。また、性状改善に成功した粘土の物性試験（吸水率、収縮率）を実施しました。
- 白化粧土、黒釉開発に向け、原料の元素分析や焼成試験を実施しました。

●再現した七面焼の PR・販売活動

- 全国梅酒まつり in 水戸（常磐神社、平成 28 年 3 月）、ランドネきたかんマルシェ（北関東 4 市の共同プロモーション事業、新宿駅西口、平成 28 年 9 月（図 1））、青空市（水戸市森林公園、平成 28 年 11 月）、水戸市産業祭（三の丸庁舎、平成 28 年 11 月）等のイベントで七面焼を PR、展示・販売を行いました（図 2）。
- 水戸駅観光案内所、水戸市植物公園等、水戸市内 8 か所に常設の展示・販売のスペースを確保することができました。

●その他

- 県教育庁、県立歴史館、私立博物館等の協力により、「七面焼」名称の由来に係る調査を実施しました。

※七面会は、水戸観光協会より七面会運営補助金の交付を受け活動しています。

基礎となった事業

平成 19～28 年度 試験研究指導費（依頼試験、設備使用、技術相談）

現在の担当部門

工芸・材料技術部門	部 門 長	寺門 秀人	TEL:0296-72-0316
	主任研究員	吉田 博和	
人材育成部門	部 門 長	尾形 尚子	
	主任研究員	常世田 茂	